

|      |  |         |           |        |
|------|--|---------|-----------|--------|
|      |  |         | 科目コード     | 432    |
| 科目名  | 臨床免疫学実習<br>(Practice in Clinical Immunology)   |         | 開講学科      | 臨床検査学科 |
| 選択区分 | 必修   | 単位数(時間) | 1単位(45時間) | 履修時期   |
|      |  |         |           | 3年次前期  |
| 担当教員 | 玉内 秀一、佐川 輝高  |         | 科目区分      | 専門科目   |
| 授業概要 | 抗原抗体反応の特性を定量沈降反応により体得せしめ、種々の方法による抗原定量、抗体定量を実習させる。さらに補体結合反応、凝集阻止反応、標識抗体法などの方法を用いて感染症検査、抗核抗体の実際を実習させる。   |         |           |        |
| 授業目標 | <p>基本的な試験管内抗原抗体反応を実習し、それらを利用した検査法の原理と基本的手技を修得するとともに、感染症診断をはじめとする各種抗原、抗体測定に免疫学的検査法が利用されていることを知ると共に医学検査領域における免疫検査学分野の重要性を理解する。</p> <p>1) 沈降反応・凝集反応の原理を説明し、結果の判定・解釈ができる。<br/> 2) 補体結合反応の原理を説明し、結果の判定・解釈ができる。<br/> 3) ウイルスHI試験の原理を説明し、結果の判定・解釈ができる。<br/> 4) ELISA法の原理を説明し、結果の判定・解釈が出来る。<br/> 5) イムノクロマト法の原理を説明し、結果の判定・解釈ができる。<br/> 6) 蛍光抗体法の原理を説明し、結果の判定・結果の判定・解釈ができる。</p> |         |           |        |

授業内容

| 回      | 項目                              | 内 容                  | 担当者          |
|--------|---------------------------------|----------------------|--------------|
| 1～3    | ガイダンス、沈降反応                      | 実習ガイダンス、試験管内沈降反応の観察  | 玉内秀一<br>佐川輝高 |
| 4～6    | ゲル内沈降反応                         | オクタロニー法と免疫電気泳動       | 玉内秀一<br>佐川輝高 |
| 7～9    | 定量沈降反応                          | 抗原特異的抗体の定量           | 佐川輝高<br>玉内秀一 |
| 10～12  | 補体結合反応(1)                       | 溶血反応の原理と補体価(CH50)の測定 | 佐川輝高<br>玉内秀一 |
| 13～15  | 補体結合反応(2)                       | 感染症診断                | 玉内秀一<br>佐川輝高 |
| 16～18  | 赤血球凝集阻止反応                       | インフルエンザウイルス抗体価測定     | 玉内秀一<br>佐川輝高 |
| 19～21  | E L I S A 法                     | 卵白アルブミン特異的 IgE 抗体の測定 | 玉内秀一<br>佐川輝高 |
| 22～23  | 蛍光抗体法                           | 蛍光標識抗体法による抗核抗体の検出    | 佐川輝高<br>玉内秀一 |
| 成績評価方法 | レポート(20%)と定期筆記試験(80%)及び出席で判定する。 |                      |              |
| 教科書    | 実習書(平成29年度版)                    |                      |              |
| 参考図書等  | (その他)必要に応じてプリントを配付する。           |                      |              |
| 備考     | 実習項目を変更することがある(事前連絡します)。        |                      |              |